

## 2017年8月の会（台湾日本工商会会議室・70名）にご参加の方々からいただいたご感想（例）です。

昨日の小田先生の「日本の心」は私にとって大変刺激的で衝撃的で心から感動しました。生まれて初めて日本人に生まれたことと、日本人という民族を心の底から誇りに思えるようになりました。

今回いただいたご縁をこれからの人生の宝物として大切に、常に明るく前向きに生きていくよう日々精進しようと思っています。

「日本」、「日本の歴史」、「日本人らしさ」、「日本的価値感」…のどれも知っているようで、実は何も知らなかった自分を痛感しました。諸説があることはそれを正直に伝えていただき、「押し付けるつもりはない」を強調されていたことも安心してお話を伺えました。日本人であることにもっと自覚や自信を持って海外と向き合っていける自分を作りたいと小田先生の熱いお話を伺い強く感じました。

台湾人の夫と結婚して以来、ずっと台湾に住んでおります。その前にアメリカに1年ほどおりましたが、その時が初めての海外生活でした。先生のおっしゃる通り自分がいかに日本のことを知らないかを実感したのを覚えております。

台湾に来てからは日本人以上に日本人らしい日本語世代の方々から日本のことを教わり、自分自身を情けないと思うことがよくありました。いまだに日本の歴史や文化については詳しくないのですが、海外生活が長くなるほど日本に対する祖国愛は強まっております。

（中略）台湾における「日本の心」はこれまで日本語世代の台湾人に支えられてきましたが、高齢化に伴い、これからは私たちのような在日台人が自国の歴史や文化に関心をもち、さらには武士道にみる日本人の美德を台湾の方々伝えていかねばならないと思っております。また我が子のような日台ハーフと言われる人たちにも双方の祖国のことをよく学び、日本語世代の方々支えてきた「日台の架け橋」としての役割を引き継いでほしいと願っています。

講演会ではとても貴重なお話をありがとうございました。お話を聞かせていただいた中で、私はもっと知らなければならないことがたくさんあることに気づかせていただきました。そのような意味では、知らないことは罪ではあるけれど、そのことに気づけたことは私にとってプラスだったのかなと感じています。台湾という海外に出たことで、これまではなかった視点から物事をみることができるようになったと感じます。自分のいる場所が変わったことで、客観的な視点が生まれたからかもしれません。私は日本人ではあるけれど今は台湾にいて、それによって、距離は遠くなったけれどより深く日本のことを、自分の地元のことを考えるようになりました。小田先生がおっしゃっていたとおりです。そして同時に、あたりまえだと思っていたことがあたりまえではないことに気づかされました。その気づいたときのおどろきをきっかけにして今後も知りたいと思うこと、知ろうとすることを続けていきたいと思っております。すばらしいお話を本当にありがとうございました。

